

## 2022 年度第 2 回鏡ヶ池会役員会議事録（案）

日 時：2022 年 10 月 14 日（金） 17:30～19:30

場 所：名古屋大学東山キャンパス 工学研究科 8 号館北棟 210 号室（土木工学専攻大会議室）  
Zoom によるオンライン

出席者：三輪（会長）、永田（東京支部）、仙田（関西支部）、趙（留学生）、張（女子の会）、杉野（1 期）、高瀬（2 期）、大澤（4 期）、遠山（5 期）、加藤（7 期）、寺島（8 期）、河邑（9 期）、田中（13 期）、磯部（14 期）、向井（15 期・会計監事）、大東（16 期）、織田（17 期）、水谷（19 期）、片山（20 期）、加藤（22 期）、中村（23 期）、中野（24 期）、野田（25 期・教員幹事）、鈴木（26 期）、石川（27 期）、川崎（29 期）、荻野（30 期）、水野（32 期）、香川（33 期）、三輪（34 期）、田代（35 期・後援基金）、中井（36 期・幹事長）、判治（37 期・副幹事長・名簿）、中村（38 期）、中村（39 期・会計）、宇佐美（42 期）、酒井（44 期・名簿・広報）、吉川（46 期・会計）、豊田（50 期）、根橋（53 期）、広瀬（57 期・学生会会長）、佐藤（58 期）、藤本（58 期）

敬称略

出席者数 43 名

### 1. 報 告

1. 第 32 回総会報告 (中井) p.007
  - ・ 2022 年 6 月 17 日に実施した第 32 回総会報告がなされた。
  - ・ 出席者は現地参加とオンライン参加を含めて 60 名程度とのこと。
2. 会費納入状況報告 (中村(友)) p.012
  - ・ 令和 3 年度の会費納入状況が報告された。
  - ・ 現段階で会費完納となっている 9 期の会員が新たにプレミアム会員へ移行する。なお、全体の納入率は 42.8%で昨年度より少し減少傾向にある。各期の個別の納入状況は幹事宛てへメール連絡があるので、未納者への連絡をお願いしたい。
  - ・ 今年度の会費請求は 12 月末から 1 月にかけて、自動引落および請求用紙の発送を行う予定とのこと。
3. 名簿 No.58 編集経過報告 (判治) p.013
  - ・ 名簿 No.58 号の編集経過報告がなされた。
  - ・ 名簿修正依頼後に会員から直接事務局へ住所変更の連絡が来ることがあるが、できるだけ各期幹事で取りまとめて頂きたい旨、お願いがあった。なお、10/21 以降の名簿修正情報は来年度の反映となるとのこと。名簿の発送は 12 月初旬を予定している。
  - ・ 名簿の WEB 閲覧に関する検討結果が報告された。業者へのヒアリングと概算見積もりを行ったところ、初年度費用が約 300 万円弱、2 年目以降のランニングコストは 200 万円弱と高額であり（現状の名簿 CD 作製費は 90 万円程度）、導入は難しいことが報告さ

れた。

4. しゃち No.63 編集経過報告 (椿 代理：中井) p.015
  - ・ しゃち No.63 の編集経過報告がなされた。
  
5. 教室後援基金報告 (田代 代理：中井) p.017
  - ・ 教室後援基金の報告があった。
  - ・ 今年度から後援基金仕様ルールの一部が変更 (Newsletter 作製費, 留学生歓迎会補助は本会計へ移行) となっている点が確認された。
  
6. 支部活動報告
  - 1) 東京支部 (永田)
    - ・ 支部総会の開催も検討していたが, コロナの感染状況を鑑み, 今年度は中止としたことが報告された。来年度の会場の仮予約は済んでいる。なお, 東京支部内の名簿の更新管理は例年通り実施しているとのこと。
  - 2) 関西支部 (仙田)
    - ・ 今年度もコロナ禍で行事開催は見送っている。コロナの状況を注視しながら, まずは支部幹事会を開催して, 来年度の活動計画を議論する予定とのこと。
  
7. 教室近況報告 (野田) p.019
  - ・ 山下奈穂先生および周月霞先生の着任が報告された。
  - ・ 永石先生の訃報が報告された。
  
8. 留学生関連活動報告 (趙) p.020
  - ・ 2022 年度の活動計画が報告された。
  - ・ 2021 年度に発刊されたしゃち No.62 から記事を抜粋・英訳した Alumni Newsletter No. 10 が作成されたことが報告された。
  - ・ 9 月 27 日に国際プログラムの修了式が, 同日夕刻には Welcome・Farewell Party がオンラインで開催されたことが報告された。
  
9. 女子の会活動報告 (張) p.022
  - ・ コロナ禍で活動ができていない状況だが, 学生幹事と話し合いをして, どのような活動を希望するかを議論した。そのうえで, 11 月～12 月に教員・OG・学生による懇親会あるいは談話会を開催予定であることが報告された。
  
10. 学生会活動報告 (広瀬) p.023
  - ・ 6/11 に名大祭土木展の出展, 9/25 に研究室対抗ソフトボール大会をともに 3 年ぶりに開催したことが報告された。土木展ではコンクリート人形作成や各研究室のパネル展示などを行い 130 名程度の来客があったとのこと。

- ・ 土木系懇親会は今年度も中止とするが、卒業記念パーティと卒業アルバム作成を今後行う予定とのこと。なお、卒業記念パーティ開催にあたって、鏡ヶ池会に以下の支援の要望があり、承認された。
  - 1) コロナの感染状況に応じて開催可否を判断するが、直前まで可能性を検討したいため、会場キャンセルとなった際のキャンセル費用をご支援いただきたい。キャンセル費用は5万円程度となる見込み。
  - 2) 開催できた場合も、出席者数の制限など、開催形態の見直しが必要となり、1人当たりの負担額が増加してしまう。例年程度の参加費を維持するために、超過分の会場費をご支援いただきたい。
- ・ コロナ禍で活動自粛していたため学生会の年間活動費 10 万円は支払っていなかったが、活動再開に伴い今年度から年間活動費の支援を再開することが確認された。

## 11. 教室支援

- 1) 国家公務員対策 (中井) p.026
  - ・ TOEIC 試験日と重なってしまったため受験者数が例年より少ないが、1次試験で17名、2次試験で9名が合格したことが報告された。官庁訪問を経て実際に就職するのは2名とのこと。
  - ・ 大学も国家公務員への学生支援を強化しているが、国交省側からも名古屋大学 OB がチームを組んで PR 活動を行っているとのこと。今後も両方でタッグを組んで、積極的な支援を継続していきたいとのことが中村光先生から報告があった。
- 2) 土木事業の談話会 (中井)
  - ・ オンライン形式で11月19日(土)に開催予定であることが報告された。
- 3) 就職マナー講習会 (中井)
  - ・ オンライン形式で1月上旬に開催予定であることが報告された。

## 12. その他

- ・ 8期と23期で同期会が開催されたことが報告された。しゃちへの原稿も執筆いただけるとのこと。

## 2. 議 事

1. 役員・幹事の変更 (中井) p.001
  - ・ 50期幹事が坂匠氏から豊田智大先生に交代することが提案され、承認された。
2. 2022 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録の確認 (中井) p.002
  - ・ 2022 年度第 1 回鏡ヶ池会役員会議事録が承認された。
3. 次期会長の選出方法について (中井) p.027
  - ・ 鏡ヶ池会三役選出方法等に関する内規の確認があった。

- ・ 会長推薦案作成委員会として、現三役の三輪会長・中井幹事長・判治副幹事長に加えて、伊藤義人先生（11期）、豊田智大先生（50期）、石川靖晃先生（27期）が提案され、承認された。
- ・ 今後のスケジュールとしては、10月中に卒業から20年以上の期に会長候補推薦依頼をメールで展開し、2か月間の推薦期間を設ける。その後、会長推薦案作成委員会で会長候補者案を作成の上、2023年度第1回役員会で会長および幹事長・副幹事長候補者を決定する。最終的には、第33回鏡ヶ池会総会で三役が承認されることとなる。

#### 4. 卒修論冊子の電子化費用の補助について （三輪） p.033

- ・ 古い卒修論冊子の保管場所を研究室として利用するにあたって、すべての冊子の電子化費用の支援のお願いがあった。費用としては最大で160万円弱となる見込みとのこと。
- ・ 金額が高額であるため、次年度の予算案に組み込んだうえで、総会で承認して頂いた方がよいとのご意見があった。また、本来は大学業務の一環だと思われるため、全額を同窓会で支援するのではなく、大学も一部は負担すべきだろうとの意見があった。
- ・ 電子化した後の卒修論の取り扱いについて確認があった。電子化後の原本は破棄することを検討しているが、希望する著者にデータを渡すことができるかは事務に確認中とのこと。なお、対象となる卒修論データは著作権譲渡書を集めていないので、原則、他人が見ることはできないが、本人以外の同窓生が閲覧することができるのかについては内部で検討してみることにした。
- ・ 電子化費用の支援は総会で予算立ての上、承認を経てからとすることとした。支援金額については、本日の意見も踏まえて内部で検討することとした。

#### 5. 会員システムのオンライン化への移行について （三輪会長，中井幹事長）

- ・ 会員システムのオンライン化への移行案が会長および幹事長から提案された。複数の幹事から実行すべき／移行に賛成とのご意見を頂き、オンライン会員システム導入へ舵取りすることが承認された。
- ・ 現状の問題として、(1) CDは閲覧できない・処分に困るといった声が増えているが、USB媒体に変更することやクラウド化は費用がかさむこと、(2) 対応できる教員が減少しており、業務負担が大きいこと、(3) 名簿も会計も自作の古いプログラムを利用しているが、作成者が担当から外れて細かな修正が難しく、作業効率性も悪いことが報告された。オンライン会員システム導入によって、(a) 常時、名簿の更新・閲覧が可能となること、(b) SNSとの連動など、同窓生間での繋がり窓口となり、同窓会活動の活発化へつながること、(c) クレジット決済やキャッシュレス決済導入によって若年期の会費納入の増加が見込めること、(d) 郵送費が削減されること、等が期待される。また、オンライン会員システムは多くの大学同窓会での利用実績もあり、SSLによる暗号化通信や二段階認証、多重バックアップ、追跡調査機能などのセキュリティ対策も強化されてきている。
- ・ 次回の役員会までにオンライン会員システムの詳細（どのような機能を持たせるのか、費用はどの程度かかるのか）を検討し、報告することとした。

## 6. その他

- ・ 次回役員会は 2023 年 4 月 28 日(金)の 17 時 30 分から開催予定。幹事の方で不都合ある方は 10 月中を目途に中井まで連絡することとした。
- ・ 第 33 回総会の開催日は次期会長候補が決まり次第、次期会長候補のご都合を確認しながら決定することとした。

以上